

ごみと地球温暖化

一緒に考えよう!



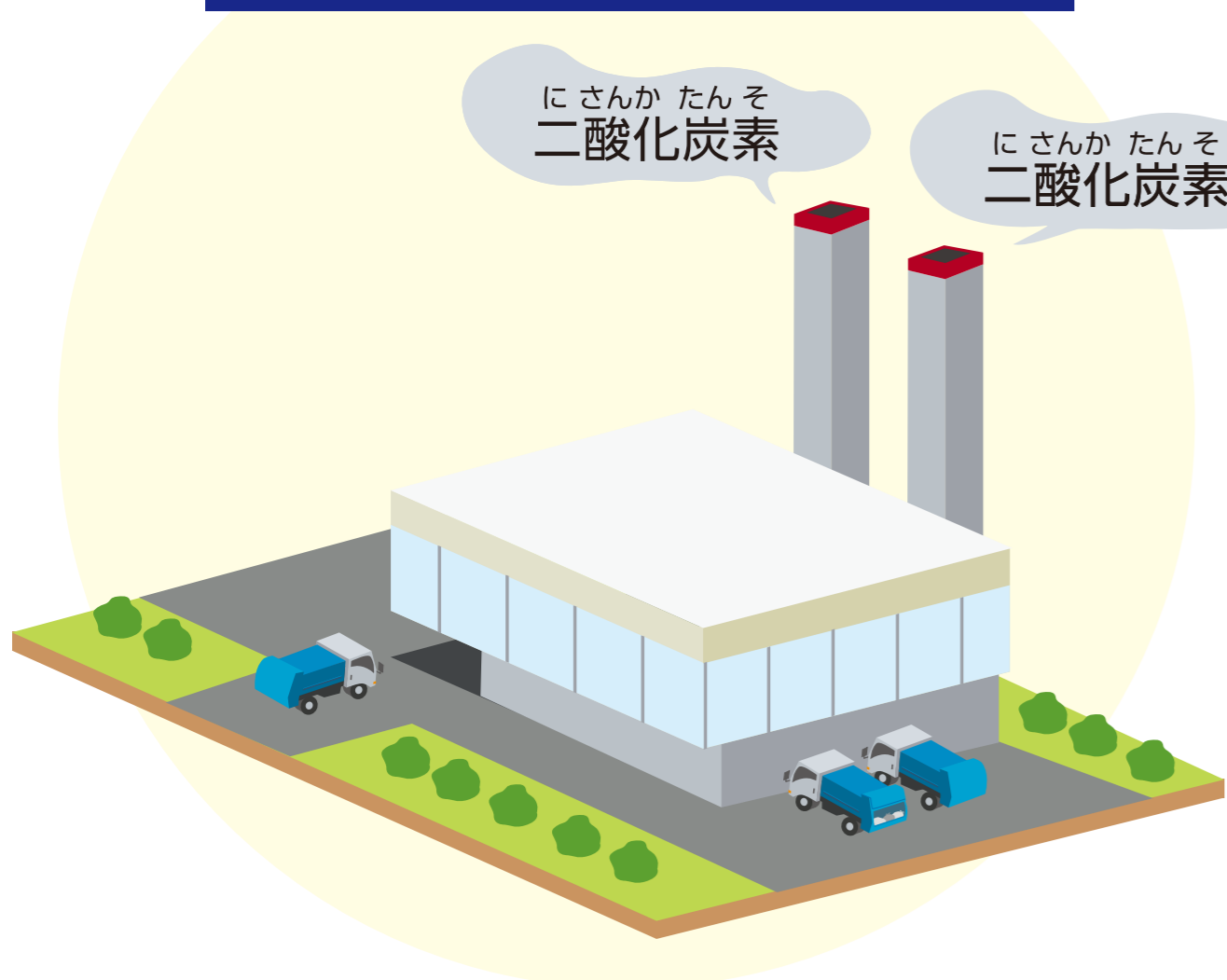
近年、大型台風や豪雨、猛暑などの異常気象がふえているよね。
 これは「地球温暖化」が影響していると言われていて、地球温暖化は、二酸化炭素などの「温室効果ガス」がふえることで進んでしまうんだ。
 「温室効果ガス」は、生活する中で色んなところから出ているんだけど、「ごみ」とはどんな関係があるのかな?一緒に考えてみよう!



「ごみ」の処理で出る温室効果ガス

わたしたちが出した「ごみ」を処理する時には、多くの温室効果ガスが出てしまうんだ。
 なかでも、約9割はごみを燃やしたときに出ているよ。
 つまり、ごみがふえることは地球温暖化にもつながるといことなんだ。

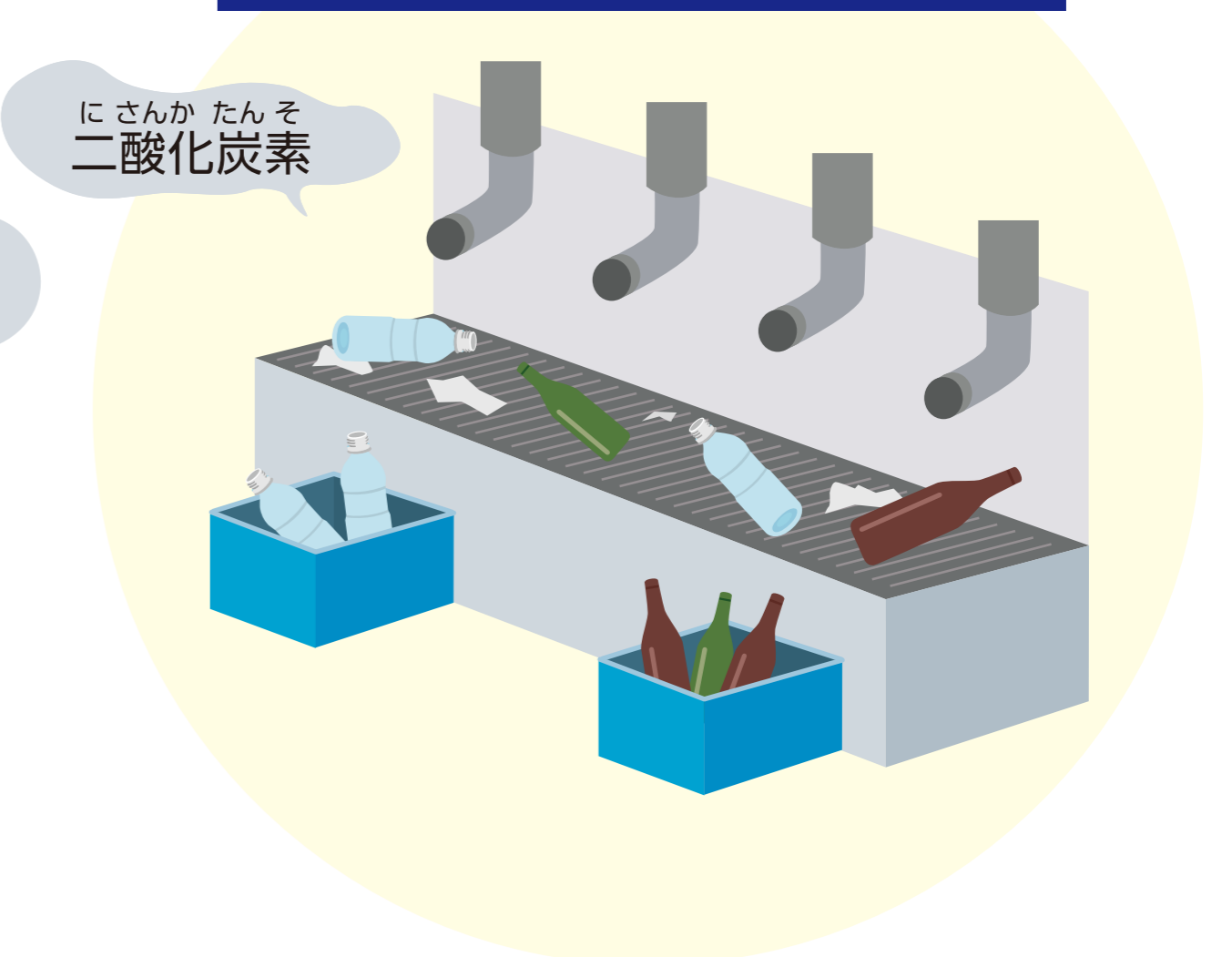
ごみを燃やした時



ごみを集める時



施設を動かす時



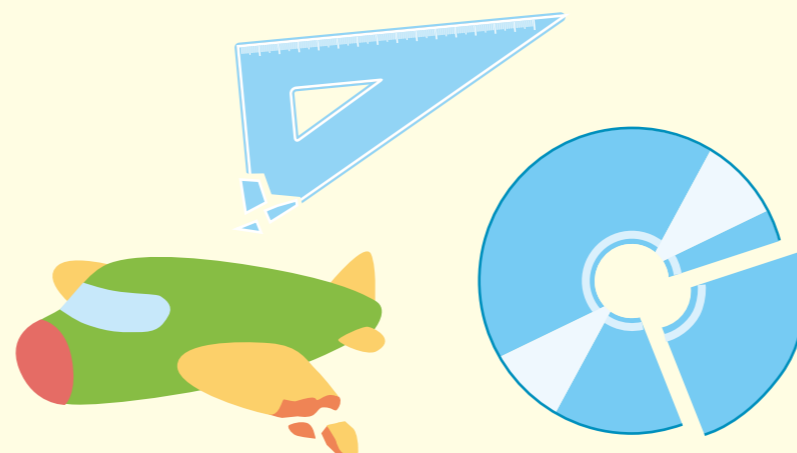
クイズ

「ごみ」の中でも特に温室効果ガスを出すのってなにかな?

A 生ごみ

B プラスチック

C 紙類



答え

答えは、Bの「プラスチック」。

横浜市ではなんと、ごみから出る温室効果ガスの約8割がプラスチックからなんだ!
 これは、プラスチックが化石燃料と言われる「石油」から作られているからだよ。



ごみを燃やして発電!?

横浜市では、焼却工場でごみを燃やした時に出る熱を利用して「電気」を作ってるんだ! 電気を作るために新たに化石燃料を燃やす必要がないため、ここで発電される電気は環境にやさしいエネルギーなんだよ!

